

## 遊佐町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年脱炭素社会の実現～

地球温暖化による気候変動の影響は、「気候危機」として世界中に気象災害や生態系の異常を引き起こしており、「カーボンニュートラル（脱炭素）」に向けた取り組みは、全世界共通の課題となっています。

我が国においても、2020年10月の政府による「2050カーボンニュートラル」宣言を皮切りに、官民挙げての脱炭素社会を目指す施策・取り組みが加速しています。

単に省エネ化や地域環境保全という視点だけではなく、持続可能な地域社会を構築していくために、私たちの日常生活や企業活動などの社会活動全般、そして価値観そのものの変革が求められていると言っても過言ではありません。

本町においても、先人から受け継がれてきた鳥海山の恵みによる豊かな自然や歴史・文化、そして安全・安心で持続的な発展が可能な地域社会を将来の世代に引き継いでいくため、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に行っていくことが求められています。

本町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、町民・事業者・行政が協働して全力で取り組むことをここに宣言します。

令和5年5月31日

遊佐町長 時田博機